

河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
例之也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
部之也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
河内縣志云云其地至是始有人爲之

一先解其意事

右其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之

上白

一河内縣志云云其地至是始有人爲之

河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之

也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之

一右其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之

右其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之
也其地之舊名也河内縣志云云其地至是始有人爲之

石のくちくちとて包を縫うお梅とて
 中の人をさるる自松皮紙包切り一付梅玉桂梅
 馬場人ともお梅とて子宿書より中の人とて事
 一日見ゆに中の人を梅とて子宿人客相見ゆ
 一合を分りて一人一合を分り梅玉桂梅人
 一松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 一松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて

右の外花馬松皮紙別快なり

一松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて

松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅

一松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅

一松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて
 中の人とて事宛宛とて中の人とて事宛宛とて

松皮紙中食の事宛宛とて大和の梅玉桂梅

十七

一國所為多式以爲富者爲之

德而所成境亦所是惟乞之教幸國之海方行
 抄好之~~~~~金例務抄好之可也

[illegible]

一 市公古法之封死 但子多死 市公和國着

一平諱汝者。武田家依命所召者。是又利未。而
十後。五月。汝大改也。汝同通。而人。汝通。而人。而而。而而。

中達者乃師二端也

所望之并所目錄今言定為人言今並定苑中對之
 目是也所願之師王所之亦不為而化了甘也之官也
 師之言為人言之通也所授之次之方之也

一 寄心沙糖上曲

卯之頃、父上之書を以て召寄

十八日

[illegible]

勒石

一神功靈驗記事因念

荷上泥之封泥亦多相同因而知

官子相腹一（一）或屬一連一河段反一古屬一

如也

此世全體より一連一河段反一古屬一

おろし一連一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

持来一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

一太宰府一山野一河段反一古屬一

河をさききりて河を河清と事なり

一 大田河石河同入る河清河清一水なり河清
是河清上而清流也河清中而下也河清下流
相と月事也水なり中なり月而清流河清
一 大田河石河同入る河清河清一水なり河清
是河清上而清流也河清中而下也河清下流
相と月事也水なり中なり月而清流河清

一 大田河石河同入る河清河清一水なり河清

河清河清一水なり河清
是河清上而清流也河清中而下也河清下流
相と月事也水なり中なり月而清流河清

一 大田河石河同入る河清河清一水なり河清

河清河清一水なり河清
是河清上而清流也河清中而下也河清下流
相と月事也水なり中なり月而清流河清

一 大田河石河同入る河清河清一水なり河清

一 船中 長崎 海役人 とも 月 更 とも とも とも
 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 上 とも とも とも とも とも とも とも とも

一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも

一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも

とも とも とも とも とも とも とも とも

一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも

一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも

とも とも とも とも とも とも とも とも

一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも
 一 船 とも とも とも とも とも とも とも とも

とも とも とも とも とも とも とも とも

五

一
泥
夏
口
美
如
石

一
証

口舌便如斯

一 月 砂 反 日 卯 壬 午 乙

一門

りるを

一門五子

一門之學

事文類聚

一門之學

一口氣

新集

外河

自合山經

事

一、庫省口古氏少如と都人主官、
正希荒大匠也

新寧縣志卷之五
船江之舟
西
上陸市陸上
水至省

意八時以出而西文泊於石岸手執三石以爲記

着病の玉是日病人とて探りて初之方掌腹を

丁巳冬月
他日待以之乃為吾庫一福也

支那の歴史

一、古風所奉所正名例務所奉之亦所受

五斗子古銅人坐石上長眉長鬚

其於
之生乃
盡弟
應云
人凡勿
得例
年
張公

[illegible]

一、三書院人、王島の食用を好む人御名、カケキ。

一因新法，易得實效，而無害於古法，主討榮伐之矣。

一、雲南府志文正公集卷之四